

# ASEAN主要6か国 <新型コロナウイルスに関する現在の状況まとめ> ※2020.6.12更新

|        | 感染拡大状況と社会経済活動総合評価 | 週平均の新規感染者数推移<br>①5月6日～11日<br>②6月6日～11日              | 非常事態宣言、行動制限等の発令状況  | 行動・外出制限   | 社会経済活動の制限/緩和状況  | 国内移動  | 海外移動  |
|--------|-------------------|---|--|---|---|---|---|
| タイ     | ○                 | ①7人→②3人   | 6月末まで非常事態宣言が延長   | 外出制限継続<br>午後11時～翌朝3時まで外出禁止（1時間短縮）<br>商業施設等への入館の際はマスク着用                  | ・モールや百貨店など商業施設は夜9時までの営業に時間延長<br>・社会的距離と入退出をスマホで行い店内飲食可能<br>・映画館など人が多く集まる施設やマッサージ店など再開<br>・少なくとも50パーセント以上の在宅勤務の要請<br>・交通機関はすべて通常運行<br>・学校はオンライン授業中、7月1日から再開の予定<br>・スポーツ施設は再開。ただし大会、チーム戦などは禁止。<br>・展示会場・会議場は2万平米以下に限って再開。ただし社会的距離必須 | ・ブーケットなど一部を除き国内航空機の運行可能なものの、タイ北部の県などで自治体によって理由のない県境移動禁止もあり                  | ・タイ行き航空機の飛行禁止は6月30日まで延長<br>・タイ航空、7月1日から東京大阪を含む路線再開<br>羽田・成田それぞれ週4便、関西・中部それぞれ週3便<br>・外国人旅行者の入国を本年第3～4四半期見込み。ソムキット副首相「今後の海外からの旅行者の受け入れは、感染が防止されている国から、もしくは地域からに限定して進めて行く」 |
| シンガポール | △                 | ①733人→②366人<br>※現在ほぼすべてインド・パングラディッシュからの労働者、市中感染は一桁台 | 6月2日より段階的緩和のフェーズ1に<br>6月中旬にフェーズ2への移行を判断                              | 外出制限継続<br>6月2日以降も原則は必要不可欠な移動のみ（食品の買い物、運動、通院等および原則は自宅勤務を強く推奨）<br>マスク着用必須 | ・フェーズ1（6月2日から）<br>6月2日より多くの業種でのオフィスでの勤務を再開<br>コロナ接触追跡ウェアブル端末の配布を発表<br>学校も順次再開（隔日等）<br>小売流通は必要不可欠業種以外閉店継続<br>・フェーズ2（6月中旬ごろに判断）<br>多くの小売店（ファッションなど）が再開、店内飲食が可能に<br>・フェーズ3（時期未定）<br>映画館などの遊興施設、ビジネスイベントなどの再開                         | ・もともと国内旅行はないが、自宅近隣以外への「社会的目的のない」移動は禁止                                       | ・外国人の入国は今解禁ならず<br>・成田週3便に加え、6月12日から関空週1便を再開<br>・中国の6つの省との往來のためチャンギ空港に「ファストレーン」を設置、14日間の自宅検疫なしでの重要なビジネスの渡航が可能に<br>・6月2日より、チャンギ空港でのトランジットが可能に                             |
| マレーシア  | ○                 | ①51人→②53人   | 6月10日より回復のための活動制限令（RMCO）に移行、経済活動の完全な再開を段階的に目指す                       | 外出制限なし<br>マスク着用は任意  | ・RMCOに入り、国内旅行、理髪店・サロン、屋台、博物館など多くの経済活動が再開<br>・引き続き人との接触を伴うスポーツや大会は禁止、バドミントン、サイクリングなどは解禁<br>・学校は段階的に再開<br>・モスク等での集団によるお祈りは継続して禁止<br>・ただし州により判断が異なる（上記は主にクアラ Lumpur）   | ・国内旅行が再開<br>・エアアジアが9か月間国内乗り放題のバスを約1万円で購入                                    | ・マレーシア航空は6月末まで国際線全便運休、7月1日より減便して再開<br>・成田週18便、関西週18便を運航予定<br>・エアアジア国内線再開  |
| インドネシア | ×                 | ①406人→②869人   | 6月4日までの予定だったPSBB（大規模社会的制限）を6月中は継続すると発表（ジャカルタ州）<br>6月を解除に向けた「移行期間」とする | ジャカルタ近郊への出入り禁止<br>マスク着用必須   | オフィス勤務など一部を緩和<br>・出社人数を50%に留め、残りは在宅勤務<br>・6月8日から独立型のレストラン、小売店の再開、15日からショッピングモールの営業再開<br>・タクシー利用可（シェアライド含む）<br>・学校、屋内型ジム、美容院・サロンなどは6月中は閉鎖  | ・ジャカルタ近郊以外からのジャカルタへの車両での出入りは禁止  | ・ガルーダインドネシアは引き続き大幅減便<br>・羽田週2便運航<br>・関西週1便運航<br>・デンパサール（バリ）線は、6月全便運休  |
| フィリピン  | ×                 | ①224人→②569人   | 6月1日より15日までマニラ首都圏全域・セブ市がGCQ（一般的コミュニティ隔離）対象地域に緩和。                     | 外出制限を継続（日用品購入は1家族1人）<br>マスク着用必須   | ・飲食店はテイクアウトのみ可能<br>・業種により50%まで出勤可能<br>・小売流通は営業再開<br>・公共交通機関は運行再開（乗車率50%以下に制限）<br>・大半の企業活動再開<br>・学校は閉鎖、オンライン授業中  | ・GCQ（一般的コミュニティ隔離）対象地域間の移動は可能<br>※GCQ対象地域は、MECQより更に制限が緩和されている地域              | ・帰国希望の日本人のための日本への帰国便をJALとANAが適時運行中  |
| ベトナム   | ◎                 | ①2人→②1人   | 5月8日に感染防止措置の大幅緩和   | 外出制限なし<br>マスク着用必須   | ・飲食店（外食含む）、商業施設、交通機関、学校、スポーツ・レクリエーション等、ほぼ通常通り<br>・カラオケやディスコの再開許可を支持（6月9日）   | ・ベトナム政府、国内観光刺激プログラム<br>「ベトナム人は国内旅行を」キャンペーン実施<br>・ハノイ：歩行者天国や市内観光名所を5月15日から再開 | ・ベトナム～韓国路線の一部を6月運航再開<br>・「安全な旅行先」でベトナム観光を売り込み、10-12月から海外市場の回復を目指す<br>・ベトナム航空、日本発ベトナム行き全区間を7月末まで運休   |

※新規感染者数データはEuropean CDC source、その他は各国政府発表、報道等より。日々刻々と状況は変化しますので最新の状況はお問合せ下さい。

※上記表作成は株式会社アジアクリック、社内・団体内等での活用は自由ですが無断での外部への再配布はご遠慮ください。